

# ケアプランデータ連携システム実践報告

社会福祉法人 蘇南会  
矢部大矢荘 居宅介護支援事業所

# 事業所概要



施設名	矢部大矢荘 居宅介護支援事業所
施設種別	居宅介護支援
開設日	2000年4月1日
所在地	〒861-3455 熊本県上益城郡山都町北中島2684-2

## 今回取り組んだ職員

ケアマネジャー 4名

# ケアプランデータ連携システム導入前の状況

## 各種書類業務についての課題感

毎月隣町まで書類を持っていくのに

**時間がかかるため大変**

## ありたい姿

**利用者への訪問や訪問記録・会議記録**など

にもう少し時間を当てられるようになりたい

# 取組成果 「ケアプランデータ連携システムによる業務時間の変化」

ケアプランデータ連携システムを**未使用**

提供表の交付にかかる時間

730分

実績表の受領にかかる時間

931分

合計 1661分

ケアプランデータ連携システムを**使用**

提供表の交付にかかる時間

245分

実績表の受領にかかる時間

425分

合計 670分

約**59.7%**  
短縮

991分の削減

# 取組成果 「ケアプランデータ連携システムによる業務時間の変化」

## 「提供表」の交付（居宅→事業所）に関する業務内容

ケアプランデータ連携システムを**未使用**

工程	手段	業務工程（アナログ）	所要時間（分）
前工程		提供表の印刷	155
		印刷した提供表の仕分け	330
書類交付	持参	対象事業所への移動	180
		提供表を手渡し	
	FAX	表紙作り	45
		提供表をFAXで送信	
合計時間			730

ケアプランデータ連携システム（アナログも併用）を**使用**

工程	手段	業務工程（アナログ）	所要時間（分）
前工程		提供表の印刷	95
		印刷した提供表の仕分け	60
書類交付	持参	対象事業所への移動	40
		提供表を手渡し	
	FAX	表紙作り	20
		提供表をFAXで送信	
合計時間			215

工程	手段	業務工程（データ連携）	所要時間（分）
前工程		介護ソフトにて送信用データ（CSV）作成	30
書類交付	連携システム	ケアプランデータ連携システムにて一括送信	
合計時間			30

このアナログ作業をデータ連携に移行するとさらなる時間削減が見込める

対象事業所数：30

対象事業所数：11

対象事業所数：19

ケアプランデータ連携システムの使用前後で **約485分間削減**  
 すべてケアプランデータ連携システムに移行できれば **4工程削減**

# 取組成果 「ケアプランデータ連携システムによる業務時間の変化」

## 「実績表」の受領（事業所→居宅）に関する業務内容

ケアプランデータ連携システムを**未使用**

工程	手段	業務工程（アナログ）	所要時間（分）
書類受領	持参	手渡しでの受領	33
	FAX	FAXでの受領	40
後工程		実績表の仕分け	103
		実績表の確認	115
		実績表の入力	640
合計時間			931

ケアプランデータ連携システム（アナログも併用）を**使用**

工程	手段	業務工程（アナログ）	所要時間（分）	工程	手段	業務工程（データ連携）	所要時間（分）
書類受領	持参	手渡しでの受領	20	書類受領	連携システム	ケアプランデータ連携システムにて受領	25
	FAX	FAXでの受領	20				
後工程		実績表の仕分け	40	後工程		介護ソフトに受信用データ（CSV）を取込	
		実績表の確認	35				
		実績表の入力	285				
合計時間			400	合計時間			25

このアナログ作業をデータ連携に移行するとさらなる時間削減が見込める

対象事業所数：30

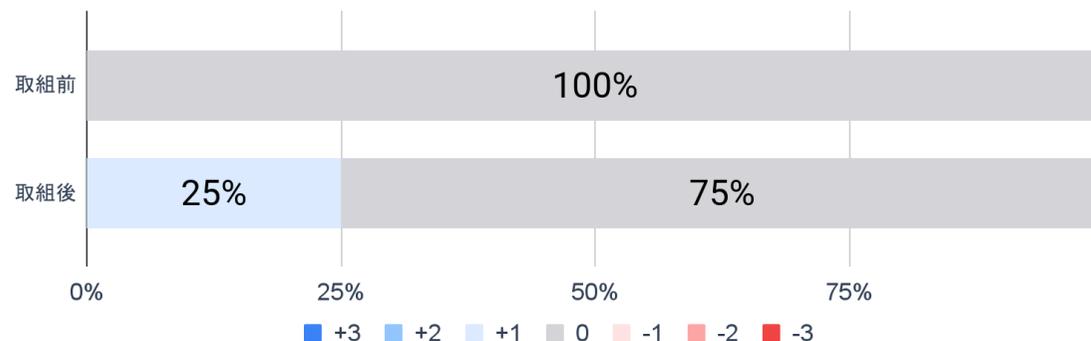
対象事業所数：17

対象事業所数：13

ケアプランデータ連携システムの使用前後で **約506分間削減**  
 すべてケアプランデータ連携システムに移行できれば **3工程削減**

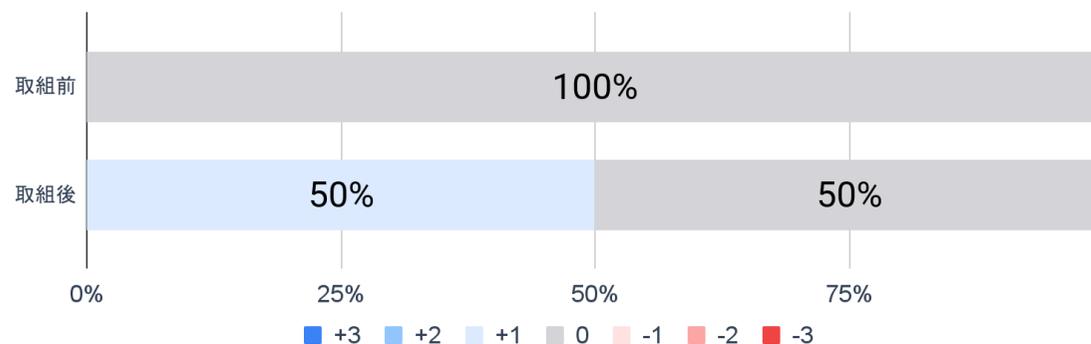
# 取組成果 「モチベーションの変化」

## ① テクノロジー導入等による、仕事のやりがいの変化



一部の職員が  
やりがいが向上した  
と感じている

## ② テクノロジー導入等による、職場の活気の変化



半分の職員が  
職場の活気が上がった  
と感じている

## さまざまな情報共有をしてみよう

---

- 退院時のサマリーを **PDFで速やか** にサービス事業所に送って便利
- 今までは個人情報の関係でメールで送付するのが不安であった書類も  
セキュリティが安全なデータ連携システムでは  
**安心してデータで送れるようになった**

## 取組成果 「実際の職員の声」

### 使用して良かったこと、便利だと思ったこと

- 直接書類を持って行くことが減ったので

**時間が削減され負担感も減った**

- **自分たちが事業所に居ない時でも**

書類が受け取れるようになってよかった

# 取組みを振り返って

## 課題点

送り先が複数事業所で同一事業所番号が付番されていても、各事業所に一括してCSVを送れない

山都町の委託居宅では要支援の提供表を送ったり、実績をもらう際にPDFを使わないといけなかったため、作業が煩雑になってしまう

## 解決策・工夫点

事業所番号が同じでも各事業所ごとに個別でCSVを送ることにした

徐々に慣れていくことと、サービス事業所側とお互いコミュニケーションをとって、間違えないようにしている

## ケアプランデータ連携システムを实际使ってみて思ったこと

### 今思えば導入、活用するポイントはここだった！

- 導入・活用し始める前は不安だらけだったが

**すぐに相談できた** ことで何とか使えるようになってきた

- いずれ本システムの導入・活用が必要になることがわかっていたため  
職員みんなで話し合い、モデル事業所になると決めたことで

**職員同士が協力しながら進めていくことができた**

## 今後に向けて

これから導入・活用する事業所の皆さんに伝えたいこと

パソコンが苦手な方は使い始めることに躊躇してしまうと思いますが  
やってみると便利な点も感じるようになってきますので

**一緒に試行錯誤しながら助け合って  
活用していきましょう！**